

TSUCHIURABLEなまちへ



1班 ◎山縣 力也 ○中澤 光希 稲葉 翔太 坂本 怜奈 高橋 慧 山下 知華 TA 池田 千紘

コンセプト
土浦が持つ魅力や可能性を活かし様々なことを可能にする**TSUCHIURABLE**なまちを目指す

全域提案



Sustainable

公共事業によるコンパクトシティの促進で持続可能なまち



公共施設再編

つくしの家

集約

“つくし公民館”

四中地区公民館

- ✓ライフサイクルコスト5.6億円の削減に
- ✓公民館利用者とつくしの家利用者の交流・イベントも可能

デジタルきらら

デジタル版地域通貨「デジタルきらら」導入
きららちゃんバス利用時にも発行

現金→デジタルきららへ
交換（プレミア率10%）

きららちゃんバス乗車で
限定きららゲット

加盟店で
お得に
お買い物



乗合タクシー無料化

廃止公共施設の徒歩圏に住む人が同用途の
公共施設に向かう際の乗合タクシーを**無料化**

コスト(年間)

湖畔荘

2630万円

つくし作業所

5580万円

乗合タクシー無料化

500万円



7710万円
削減

地区別提案



新治

りんりんキッチンで交流が盛んなまち

藤沢休憩所へのキッチンカー誘致

(住民とサイクリストへの飲食サービス提供)



- ✓出店者を募集
- ✓出店者へは支援策を用意
 - キッチンカーの無償貸与
 - 出店場所の無償提供
- ✓売上の一部は出店料として回収
- ✓イートイン環境を整備



藤沢休憩所を活かし、“食べる”でつながる
Connectableな休憩所



北部

集会施設で快適な住環境のまち

おおつ野コミュニティセンター

- ✓空き教室を集会所として利用
 - 既存施設の利用によるコスト削減
- ✓同施設に既存システムの
「つちうらリモートコンシェルジュ」を導入



千葉市の事例より

集会施設が高齢者の憩いの場、コミュニティ
形成の場所、防災倉庫、一時的な避難場所に



安らぎの場であり、サポートもしてくれる
Comfortableな施設

3.Walkable



中央

中心市街地整備で歩きたくなるまち

歩行空間化 PATIOを取り壊し歩行空間にして動線を創出

モール505整備 特徴を残しつつ1階部分はオープンテラスに

シェアードスペース

人々の交流や新たな活動が生まれる道路空間を創出

コンテナショップ

キッチンカーの実店舗化を支援

街角公園・オープンスペース

コミュニティ形成の場を提供



モール505の雰囲気、立地を活かし長く居たい
Walkableな中心市街地

4.Visitable



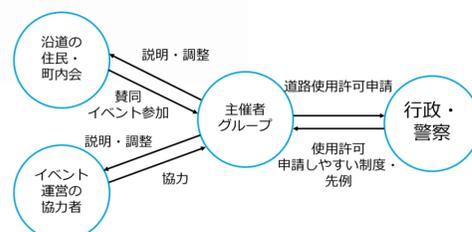
南部

プレイストリートに訪れたいなるまち

あらかわおきプレイストリート

週末の一定時間車両通行止めをしてみちあそびイベントを実施

関係者スキーム



南部地区の公園誘致距離内のメッシュ人口の増加、
新たな地域コミュニティの育成が期待できる

気軽に訪れ、交流できる **Visitable**な住宅地